

無停電電源装置

# ARD(Auto Rescue Device)

ARD(自動救助装置)は停電により、昇降機が停止した時に最寄階に運行した後、ドアを開いて乗客の閉じ込めを予防出来る最適装置として開発しました。

## 基本仕様

- モデル名:JSA-200-3-I (In タイプ)  
 停電管制への切替マグネットスイッチはARD内に内蔵
- :JSA-200-3-O (Out タイプ)  
 停電管制への切替マグネットスイッチは制御盤内に内蔵
- 定格容量:3kVA / 2.4kW
- 電圧:200Vac
- 本体寸法(JSA-200-3-I):374mm X 510mm X 131mm  
 (JSA-200-3-O):354mm X 460mm X 98mm
- バッテリーボックスの寸法:430mm X 360mm X 100mm
- 液晶表示機能でバッテリー残量、ARD状態、故障内容の確認可能
- バッテリーがカードリッジ式になっている為、交換が容易
- 3相電源のうち、1相の次相発生でも停電管制が機能し救出運転が可能
- バッテリー交換時期を知らせるアラーム機能搭載
- テストモードで建物側の電源を落とさなくてもARDのテストが可能 (In タイプ)

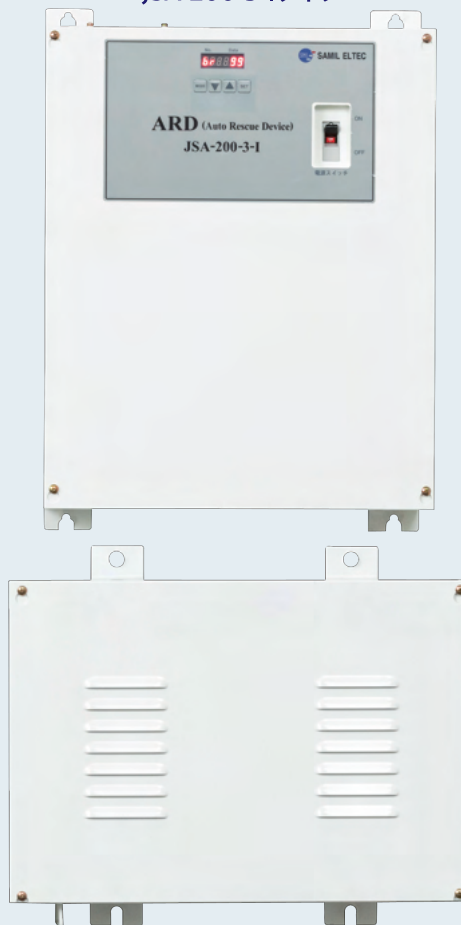
## 特徴

- 安い価格
  - 初期費用を抑えられる  
 エレベーターに特化された製品として従来のUPSより安価
  - 維持費用を抑えられる  
 日本国内で入手しやすい互換性の有るバッテリー使用
- ARD使用による追加回路が不要 (JSA-200-3-Iの場合)
  - ARD内部に常用電源、バッテリー電源用マグネットスイッチが内蔵済みで、従来のUPS使用時に必要な制御盤内部の追加回路及びマグネットスイッチの増設が不要
- 小型化・軽量化及び汎用性を持つバッテリーの使用
  - ARD本体とバッテリーボックスを2分化した為、管理及び交換が容易
  - 日本で一般的に使われている 12V 5Aのバッテリーを使用
  - 現在、YUASA社製バッテリー(PXL12050J)、古河社製バッテリー(FPX1255)、KUNG LONG社製バッテリー(WPS5-12)と互換可能
  - コンパクトな構造設計でスペースが狭い場所にも設置が可能

## 基本バッテリー紹介

本製品に基本搭載されているロケットバッテリーは韓国のバッテリー分野で1位を占め、全世界130カ国に輸出しています  
 (基本バッテリー以外にも日本で手に入りやすいYUASAバッテリーや古河バッテリーなど使用も可能です)

JSA-200-3-Iタイプ



ARD内部

